



### 登校・下校中に地震発生!

**まずは**ガラスやブロック塀… 上や横からのものに注意  
 ゆれによって上から落ちてくるものや、自分の方向に向かって倒れてくるものがないか、あたりを見回して注意します。落ちてくると予想されるのは電線、家の屋根瓦、割れたガラスなどです。自分の背より高い位置にあるブロック塀や家の壁にも注意が必要です。

また「倒れるわけがない」とみなさんが思いこんでいるのが自動販売機や電柱です。車も大きな揺れで移動してくる場合があります。倒れてくる、移動してくる危険性があることを覚えておいて、そばを離れるようにしましょう。

**次に**自分の頭を守ること  
 持っているものや背負っているもので頭を守りましょう。

和歌山県教育委員会の「学校における防災教育・安全指針」(平成26年3月)では、災害発生時における小学校での目標が明記されています。

■低学年(1・2年生)の目標

災害に関心をもち、災害発生時に近くの人に連絡したり、一緒に避難してもらえよう声をかけるなど、適切な行動ができるようにする。

■中学年(3・4年生)の目標

災害について基本的な理解ができ、自ら安全な行動ができるようにするとともに、周囲の人と協力して危険を回避できるようにする。

■高学年(5・6年生)の目標

災害の危険を理解し、自ら安全な行動ができるようにするとともに、自分の安全だけでなく他の人々の安全にも気配りができるようにする。また、「自助」と「共助」の意味や大切さを理解できるようにする。

### そして

- 1・2年生は、近くの大人などに声をかけ、助けてもらうようお願いをしましょう。
- 3・4年生は、まずは自分の命を守るようにし、周りの人や様子を見ながら一緒に動きましょう。
- 5・6年生は、自分の命とともに他の小さい子たちのことも考えて行動しましょう。

### お家の方へ…

日頃から安全な場所を、親子でチェックしておいてはどうでしょうか。

たとえば歩いているときに、「今地震がきたらどうする?」などとお子様に語りかけ、避難場所を一緒に確認します。家と学校間の距離がそう離れていない場合は、「ここまできたときに地震が起きたら家(学校)に避難してね」など、避難場所の区切りを教えてあげるのも分かりやすいかと思います。登下校中、どの場所においても一人で判断できるように訓練しておく、お子様自身も安心できるはずですよ。

裏面に続く

さて、今回は地震のお話だけではありません。



## 弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

### ①速やかな避難行動

### ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



#### 国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。

[http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo\\_manual.html](http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html)

ミサイル落下時は、こちらから政府の対応状況をご覧ください。



首相官邸  
ホームページ  
[www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/)



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
@Kantei\_Saigai



**Jアラート** (例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に  
いる場合

できる限り頑丈な建物や  
地下に避難する。

地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

建物が  
ない場合

物陰に身を隠すか、  
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に  
いる場合

窓から離れるか、  
窓のない部屋に移動する。



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをし室内を密閉する。

### 弾道ミサイル落下時の行動について

- 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

メッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとってください。

#### 【屋外にいる場合】

- 近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難する。
- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。



#### 【屋内にいる場合】

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

～ 行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください ～

詳細については、国民保護ポータルサイト(<http://www.kokuminhogo.go.jp/>)をご覧ください。

四箇郷小学校では、地震と津波を想定した訓練を11月1日(水)10:00より行います。当日は、全市一斉に緊急地震速報の試験放送があり、それに合わせて訓練を行います。

また別の日に、弾道ミサイル落下時を想定した訓練も予定しています。その際、登校・下校時に起こったときの行動についても話をします。

学校であろうと家であろうと、まわりに大人がいようとまいと、それが地震であろうとなかろうと、とにかく自分の命は自分で守るという意識を高めておく必要があります。つまり、お子様自身の判断力や行動が大切で、そのポイントとなるのがやはり、

- 1・2年生は、近くの大人などに声をかけ、助けをもらうようお願いをしましょう。
- 3・4年生は、まずは自分の命を守るようにし、周りの人や様子を見ながら一緒に動きましょう。
- 5・6年生は、自分の命とともに他の小さい子たちのことも考えて行動しましょう。

—このことではないでしょうか。